

三島カトリック教会
創立50周年記念
演奏会

MONTEVERDI Madrigali

マドリガーレの夕べ

Concerto Zefiro

コンチェルト・ゼフィロは、今回はモンテヴェルディのマドリガーレ第8巻からの曲を演奏いたします。6声のマドリガーレにヴァイオリン2台と通奏低音という、マドリガーレにしては大規模で、この時代がオペラ創成期であることを感じさせる曲です。

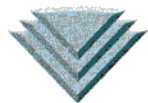
この第8巻からの曲がこれだけまとめて、しかも弦と通奏低音という編成で演奏されることは大変珍しいことだと思います。

お楽しみください。

2003年 6月28日(土) 開演18:30

三島カトリック教会 聖堂

主催:星園幼稚園・三島カトリック教会



出演： 服部礼子 (S)
伊熊公子 和部幸代 (MS)
穴山佳子 本田美子 (A)
真鍋 匡 田代憲孝 (T)
市川行洋 (B)

丹沢広樹 なかやまはるみ (violin)
西野潤一 (theorbo)
穴山 徹 (viola da gamba)

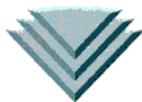
指揮： 市川行洋

Concerto Zefiro コンチェルト・ゼフィロ

コンチェルト・ゼフィロは、初期バロックとルネッサンスの声楽曲を歌うヴォーカルアンサンブルです。

1951年、杉山一郎氏により「みどり会合唱団」として創立され、当時としては珍しかったルネッサンスの宗教曲やマドリガルにとりくみました。後に指揮者が市川行洋に変わり、1992年より古楽器による通奏低音を加え、ダウランド、タヴァナー、モンテヴェルディ等のルネッサンス、初期バロックの作品を主なレパートリーとする演奏団体となりました。

1998年、グループ名を「コンチェルト・ゼフィロ（イタリア語で西風の意）」と改称。1999年、つのだたかし氏と共演してモンテヴェルディの「アリアンナの嘆き」全曲を演奏。2001年には、日本で演奏されることの少ない15世紀、16世紀のスペイン歌曲の演奏会を開くなど精力的に活動しています。



CLAUDIO MONTEVERDI
1567~1643
Madrigali libro Ottavo

プログラム: クラウディオ・モンテヴェルディ作曲
マドリガーレ第8巻(1638)

第一部「戦いの歌」より

- 1 シンフォニア
Sinfonia
- 2 皆が愛の神を歌う一方、私は戦いの歌を歌う
Altri canti d'Amor
- 3 踊りへの導入:不滅の道を天空へ向かう
Introduzione al ballo: Volgendo il ciel
踊り:音楽にあわせ美しい足を
Ballo: Movete al mio bel suon

休憩

- 4 マドリガーレ第7巻(1619)より
黄金色の髪
Chiome d'oro
- 5 マドリガーレ第8巻 第二部「愛の歌」より
ニンファの嘆き
Lamento della Ninfa
- 6 マドリガーレ第7巻(1619)より
シンフォニア
Sinfonia
- 7 マドリガーレ第8巻 第二部「愛の歌」より
皆が軍神マルスを歌う一方、私は愛の歌を歌う
Altri canti di Marte
二つの美しい瞳
Due belli occhi



CLAUDIO MONTEVERDI

1567-1643

クラウディオ・モンテヴェルディは16世紀のなかごろ、優れたヴァイオリン製作者の街として有名なクレモナに生まれました。

大聖堂の楽長の指導を得てルネサンスのポリフォニー音楽を身につけると、17才で早くもカンツォネッタ集を出すなど天才ぶりを示し、20才で第一巻を発表してより71才で出版した第八巻にいたるマドリガーレ曲集においてバロック音楽への道を拓いたのでした。

「オルフェオ」や「ポッペアの戴冠」などの歌劇、「聖母マリアの夕べの祈り」などの宗教曲でも大きな業績を残したモンテヴェルディは、長い生涯を通じて新しい音楽の流れをリードした初期バロック最大の作曲家として誉えられています。